

The 55<sup>th</sup> Scientific Meeting of the Japanese Medical Society for  
Lung Surfactant and Biological Interface

# 日本肺サーファクタント・ 界面医学会 (旧 日本界面医学会)

## 第55回学術研究会

肺サーファクタントおよび  
界面現象に関する学術集会

テーマ **温故知新**

—時代の先端を担う

サーファクタント・界面医学の構築を目指して—

会期 2019年 10月26日(土)

会場 福岡大学病院 福大メディカルホール  
福岡県福岡市城南区七隈7丁目45-1

会長 藤田 昌樹 福岡大学 医学部呼吸器内科学



## 第55回日本肺サーファクタント・界面医学会学術研究会 開催にあたって



日本肺サーファクタント・界面医学会 第55回学術研究会

会長 藤田 昌樹 福岡大学 医学部 呼吸器内科学

この度、伝統ある日本肺サーファクタント・界面医学会第55回学術研究会を開催させていただくことになり大変光栄に存じます。福岡歯科大学橋本教授が開催された第54回学術研究会に引き続いての福岡での開催になります。2年続いての福岡での開催になりますが、皆様のご参加をお待ちしております。

ここ数年、本学術研究会は変動の波に揉まれてまいりました。また、昨今の学術研究会をサポートしていただく環境も一層と厳しくなる一方です。このため、今回の学術研究会では、以前の学術研究会の形態、肺サーファクタントの研究テーマを基盤においた学術研究会に一旦戻し、継続可能な学術研究会を再構築していきたいと考えています。このためテーマを「温故知新 ～時代の先端を担うサーファクタント・界面医学の構築を目指して」といたしました。昨年、一昨年と基礎研究が主眼となっていましたので、今回は臨床とサーファクタントに主眼をおきたいと考えています。これに即し、サーファクタントの歴史を翻って、Prof Rober J Mason をお呼びして、招請講演をしていただく予定です。国内の臨床研究の第一線でご活躍中の先生方の教育講演も企画していますが、一般演題を中心とした以前の学術研究会方式に戻ろうと思っています。関連諸氏のみなさまに多くのご参加をいただき、意見交換の良い機会となって、本学術研究会の発展に貢献できれば幸甚に存じます。

# 開催概要

## 温故知新

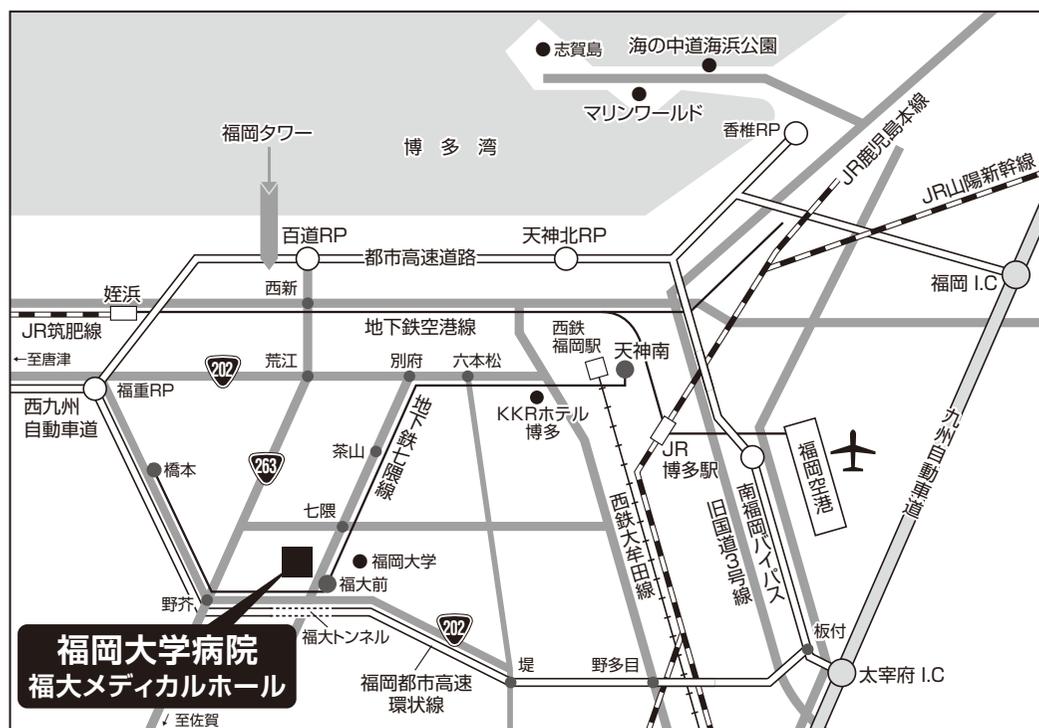
—時代の先端を担うサーファクタント・界面医学の構築を目指して—

会 期	2019年10月26日(土) 8:45~17:35
会 場	福岡大学病院 福大メディカルホール・多目的室 (福岡県福岡市城南区七隈7丁目45-1)
会 長	藤田 昌樹(福岡大学 医学部 呼吸器内科学)
役員会	2019年10月25日(金) 18:00~18:45
会 場	福岡大学医学部研究棟本館 1階 B会議室
会長招宴 (役員のみ)	2019年10月25日(金) 19:00~21:00
会 場	レストラン MORI <a href="http://www.restaurant-mori.com/">http://www.restaurant-mori.com/</a>
会 費	10,000円
備 考	役員会後にバスで移動いたします。

## 演者へのお願い

- 1) 第55回学術研究会の一般発表は全て口演で行うこととさせていただきます。発表時間は討論時間を含めて15分です。必ずお守りください。
- 2) 発表は、PCのPowerPointでの発表のみとさせていただきます。
  - 大変恐縮ですが、演者は発表の30分前までにデータの受付と試写を済ませてください。
  - Windowsの場合はUSBメモリに保存したデータでお持ちください。発表データのファイル名は「演題番号\_演者名.pptx」としてください(例：演題番号が01の場合、01\_発表太郎)。ご発表データは、「演題受付」会場のパソコンに一時保存いたしますが、こちらのデータは本学術集会終了後、責任を持って事務局が廃棄します。
  - Macintoshの場合はご自身のパソコンをお持ちください。発表データのファイル名は「演題番号\_演者名.pptx」としてください。MiniD-sub15ピンの出力ケーブルに接続するためのコネクタおよびACアダプターを忘れずにお持ちください。
  - PowerPoint上で動画を使用する場合は、演者ご自身のパソコンでご発表ください。また、ACアダプターを忘れずにお持ちください。
- 3) 座長の先生は、ご担当のセッション・講演開始20分前までに次座長席にお着きください。

## 会場周辺図



### 学会会場

福岡大学病院 福大メディカルホール

#### ■博多から

- 地下鉄(福岡市営地下鉄)(約30分)  
地下鉄空港線「博多駅」→「天神駅」(約6分)→乗り換え(徒歩約8分)→  
地下鉄七隈線「天神南駅」→「福大前駅」(約16分)→2番出口(福岡大学病院連絡通路)
- バス(西鉄バス)  
「博多バスターミナル1F④」から114番→「福大病院」(約46分)

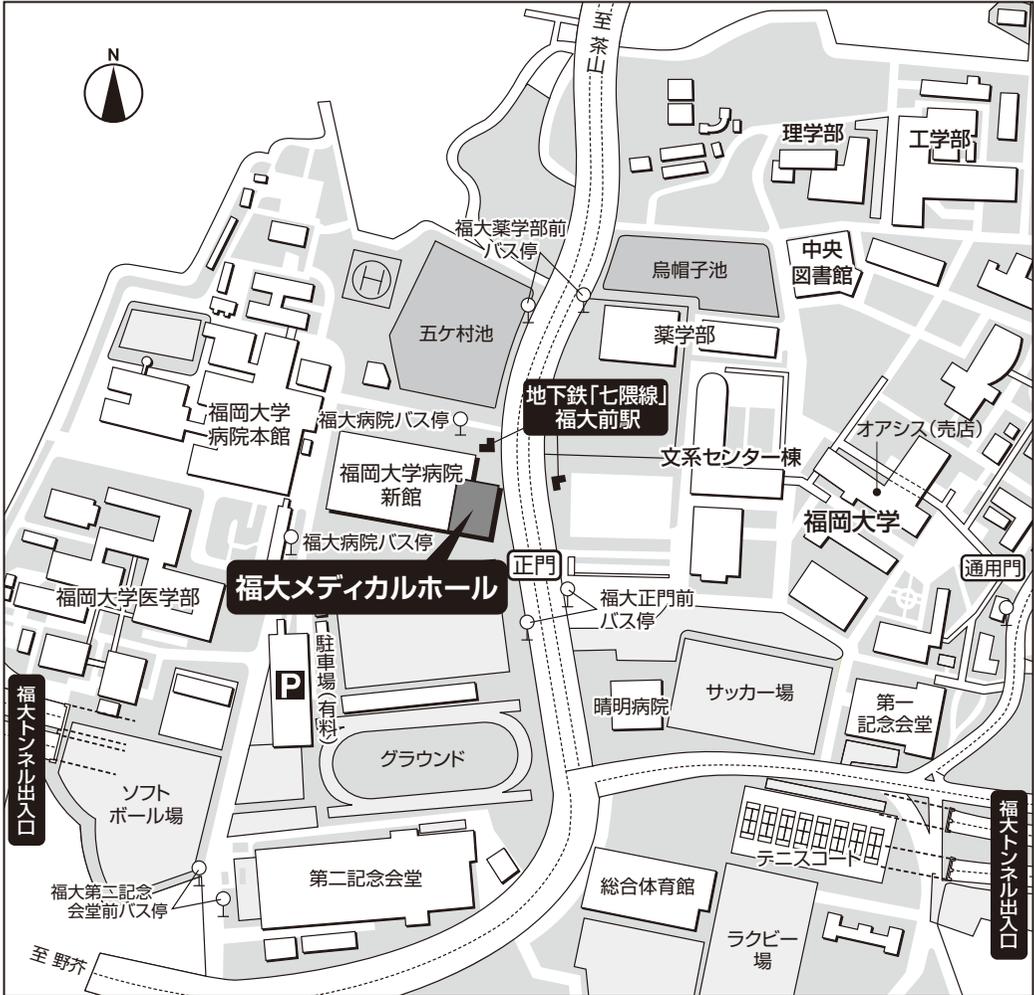
#### ■天神から

- 地下鉄(福岡市営地下鉄)(約16分)  
地下鉄七隈線「天神南駅」→「福大前駅」→2番出口(福岡大学病院連絡通路)
- バス(西鉄バス)  
「天神警固神社・三越前」から114番→「福大病院」(約35分)  
「天神協和ビル前⑩」から140番→「福大病院」(約45分)

#### ■福岡空港から

- 地下鉄(福岡市営地下鉄)(約35分)  
地下鉄空港線「福岡空港駅」→「天神駅」(約11分)→乗り換え(徒歩約8分)  
→地下鉄七隈線「天神南駅」→「福大前駅」(約16分)→2番出口(福岡大学病院連絡通路)
- タクシー(約45分)

※会場専用の駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。



# プログラム

8:45～9:00

開会の辞

第55回学術研究会会長 藤田 昌樹(福岡大学)

9:00～10:30

一般演題

座長：瀬戸口 靖弘(東京医科歯科大学)

橋本 修一(福岡歯科大学)

## 01 陽陰圧対外式人工呼吸器を併用し全肺洗浄を施行した自己免疫性肺胞蛋白症11例の検討

○玉野井 大介<sup>1)</sup>、吉田 知栄子<sup>1)</sup>、木村 俊貴<sup>1)</sup>、城臺 孝之<sup>1)</sup>、石村 達広<sup>2)</sup>、岡本 真一郎<sup>1)</sup>、一安 秀範<sup>1)</sup>、山本 達郎<sup>2)</sup>、坂上 拓郎<sup>1)</sup>

1)熊本大学病院 呼吸器内科、2)熊本大学病院 麻酔科

## 02 SFTPC Non-BRICHOS ドメイン変異に伴う肺線維症マウスモデルにおけるオステオポンチン発現解析

○濡木 真一<sup>1)2)</sup>、Tomer Yaniv<sup>2)</sup>、Venosa Alessandro<sup>2)</sup>、Ruso Scott J.<sup>2)</sup>、Kazen Jeremy<sup>2)</sup>、Mulugeta Surafel<sup>2)</sup>、門田 淳一<sup>1)</sup>、Beers Michael F.<sup>2)</sup>

1)大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座、

2)ペンシルベニア大学 医学部 呼吸器・アレルギー・集中治療学講座

## 03 Transwell 共培養システムを用いた脂肪組織由来間葉系幹細胞による肺細胞間バリア機能増強効果の解析

○石井 光寿、土谷 智史、土肥 良一郎、溝口 聡、松本 桂太郎、宮崎 拓郎、畑地 豪、渡邊 洋之助、永安 武

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍外科学

## 04 2型肺胞上皮でのPTEN欠損は細胞老化を加速し、ミトコンドリア恒常性とニッチ恒常性を破綻させ、加齢性の肺気腫を誘導する

○柳 重久、三浦 綾子、坪内 拓伸、松尾 綾子、重草 貴文、中里 雅光

宮崎大学 医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野

## 05 肺サーファクタント由来人工合成粘膜アジュバント SF-10は、乳幼児期に抗インフルエンザ長期免疫記憶を誘導できる経口粘膜アジュバントである

○木本 貴士、堺 聡子、亀田 桂子、森田 涼子、高橋 悦久、木戸 博

徳島大学 先端酵素学研究所 生体防御病態代謝

## 06 肺胞Ⅱ型上皮細胞内に認められた未熟顆粒から層板小体の形成ならびに肺サーファクタントの関係について

○松村 豪一<sup>1)</sup>、武井 恒知<sup>2)</sup>、鈴木 英紀<sup>3)</sup>、高木 孝士<sup>4)</sup>、小林 素秋<sup>5)</sup>、高橋 響<sup>5)</sup>、中村 青翁<sup>6)</sup>

1) 埼玉こうのす共生クリニック、2) 岩手医科大学、3) 日本医科大学、4) 昭和大学 医学部、5) セプトサピエ株式会社、6) 精生源株式会社

10:30～10:40

### コーヒーブレイク

---

10:40～11:30

### 特別講演

---

座長：諏訪部 章（岩手医科大学）

#### 〔 鉍物解析による職業性呼吸器疾患の診断について 〕

森本 泰夫 先生 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学

11:30～11:45

### 総 会

---

司会：諏訪部 章（岩手医科大学）

11:50～13:00

### ランチョンセミナー

---

座長：藤田 昌樹（福岡大学）

#### 〔 慢性呼吸器疾患合併肺癌の臨床的特徴と薬物療法 〕

大坪 孝平 先生 北九州市立医療センター 呼吸器内科

13:20～14:20

## 招請講演

---

座長：居石 克夫（独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター 臨床研究部 病理部長  
九州大学 名誉教授）

〔 Insights into alveolar epithelial biology from  
single cell analyses 〕

Dr. Robert J Mason Professor Emeritus at National Jewish Health,  
Denver CO, USA

14:20～14:30

## 感謝状授与

---

司会：藤田 昌樹（福岡大学）

14:30～15:20

## 教育講演

---

座長：長内 和弘（金沢医科大学）

〔 特発性肺線維症  
—疫学調査から見えてきたこと— 〕

千葉 弘文 先生 札幌医科大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座

15:20～15:30

## コーヒースタイル

---

座長：一和多 俊男（東京医科大学）  
高橋 弘毅（札幌医科大学）

**07** 肺胞Ⅱ型上皮細胞における Rab38 低分子量 G タンパク質との  
関連遺伝子の DNA マイクロアレイを用いた網羅的解析

○長内 和弘<sup>1)2)</sup>、中村 有香<sup>1)</sup>、水野 史朗<sup>2)</sup>、梶 博久<sup>2)</sup>、石垣 靖人<sup>1)</sup>

- 1) 金沢医科大学総合医学研究所 生命科学研究領域 遺伝子機能研究分野、
- 2) 金沢医科大学 医学部 呼吸器内科学

**08** Lung epithelial organoid induction from a bronchial basal cell line VA10 cells

○Shuichi Hashimoto<sup>1)</sup>、Shohei Yoshimoto<sup>1)</sup>、Barry R Stripp<sup>2)</sup>

- 1) Section of Pathology, Department of Morphological Biology, Division of Biomedical Sciences, Fukuoka Dental college, Fukuoka, Japan.
- 2) Departments of Medicine and Biomedical Sciences, Lung and Regenerative Medicine Institutes, Cedars-Sinai Medical Center, LA, USA

**09** 臨床応用を目指した肺胞微石症の基礎および治療法の検討

○齋藤 充史<sup>1)2)</sup>、高宮 里奈<sup>3)</sup>、藤谷 直樹<sup>2)</sup>、有木 茂<sup>2)</sup>、黒沼 幸治<sup>1)</sup>、  
千葉 弘文<sup>1)</sup>、高橋 素子<sup>2)</sup>、高橋 弘毅<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座、
- 2) 札幌医科大学 医学部 医化学講座、
- 3) 東京大学 医学系研究科 疾患生命工学センター

**10** 加熱式たばこの肺胞上皮細胞への影響

○伊藤 洋子、河野 千夏、浅野 浩一郎

- 東海大学 医学部 内科学系 呼吸器内科学

**11** 肺癌患者の SP-A が上昇しやすい

○松本 武格

- 福岡大学病院 呼吸器内科

**12** 当科における肺胞蛋白症の経験

○池田 貴登<sup>1)</sup>、佐々木 朝矢<sup>1)</sup>、井形 文保<sup>1)</sup>、青山 崇<sup>1)</sup>、吉田 祐士<sup>1)</sup>、  
串間 尚子<sup>1)</sup>、松本 武格<sup>1)</sup>、石井 寛<sup>2)</sup>、藤田 昌樹<sup>1)</sup>

- 1) 福岡大学病院 呼吸器内科、2) 福岡大学筑紫病院 呼吸器内科

## 13 特発性肺線維症の血清バイオマーカーとして ペリオスチンとサーファクタント蛋白 D の性能の比較

○岡元 昌樹<sup>1)2)</sup>、太田 昭一郎<sup>3)</sup>、小野 純也<sup>4)</sup>、出原 賢治<sup>5)</sup>、星野 友昭<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構 九州医療センター 呼吸器内科, 臨床研究部、
- 2) 久留米大学 医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門、
- 3) 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科、
- 4) シノテスト株式会社、5) 佐賀大学 医学部 分子生命科学講座

## 14 慢性線維性間質性肺炎 (CFIP) の予後予測における血清および 気管支肺胞洗浄液 (BALF) 中 Alb, KL-6, SP-D, SP-A の意義に関する検討

○若松 謙太郎<sup>1)</sup>、永田 忍彦<sup>2)</sup>、熊副 洋幸<sup>3)</sup>、福井 いづみ<sup>1)</sup>、清谷 るりこ<sup>1)</sup>、  
大後 徳彦<sup>1)</sup>、伊勢 信治<sup>1)</sup>、出水 みいる<sup>1)</sup>、川崎 雅之<sup>1)</sup>

- 1) NHO 大牟田病院 呼吸器内科、
- 2) 福岡大学筑紫病院 呼吸器内科、
- 3) NHO 大牟田病院 放射線科

17:30～17:35

閉会の辞

第55回学術研究会会長 藤田 昌樹 (福岡大学)

---

# 抄 録

---

特 別 講 演

招 請 講 演

教 育 講 演

ランチオンセミナー

一 般 演 題

## 鉍物解析による職業性呼吸器疾患の 診断について

森本 泰夫

産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学

特発性呼吸器疾患の原因解明において、環境要因や遺伝要因は常に検討対象としての比重が置かれている。しかし、実際に職業性肺疾患を診断する手法としては、問診が主で、一部に肺組織からの当該物質の検出など実施されているが、必ずしも十分と言えない。本講演では、我々が実施している職業性肺疾患の診断へのアプローチについて紹介する。職業性疾患の原因を解析する際の基本方針として、まずは、職場で取り扱う化学物質と生体サンプルから計測された物質の一致することである。取り扱い物質に関しては、職場と連携をとり、使用する化学物質のデータシート(safety data sheet (SDS))、または現物を入手する。一方、生体サンプルに関しては、肺内の組織または気管支肺胞洗浄液(BALF)から当該物質の解析を行う。

### 1) 繊維状物質

灰化したBALFや肺組織から、繊維状物質を抽出して、繊維状物質の本数計測と成分分析を行い、繊維の同定と繊維濃度を測定する。これらの繊維状物質が職場の取り扱い物質と一致するか検討する。K、Na、Caなどのアルカリ金属やアルカリ土類金属を主成分とする繊維状物質は、肺内の残存は少なく職業との関連が低い。AlやSiなどが主成分とする物質は肺内残存しやすく、職業との関連が高い傾向にある。また、石綿は後者に属しており、残存する石綿繊維または石綿小体の肺内沈着量が労災認定の基準となっている。



日本肺サーファクタント・界面医学会  
第55回学術研究会 プログラム・抄録集

---

会 期：令和元年10月26日(土)

会 場：福岡大学病院 福大メディカルホール

会 長：藤田 昌樹(福岡大学 医学部 呼吸器内科学)

発行所：福岡大学 医学部 呼吸器内科学

〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45-1

TEL：092-801-1011 FAX：092-865-6220

E-mail：hkushi@fukuoka-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>



